

# 平成20年度北海道文化財年報



ユネスコの無形文化遺産を目指す アイヌ古式舞踊

平成21年5月

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化・スポーツ課

## はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を広く共有することが大切です。このため、北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えて行くため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、文化財に親しむ環境づくりに取り組むことになりました。

この年報では、重要文化財北海道上之国勝山館跡出土品をはじめとして新たに指定・登録された文化財や、世界遺産登録に向けた取り組み、北海道文化財保護強調月間中の事業や北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及・活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

ご活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

### ●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

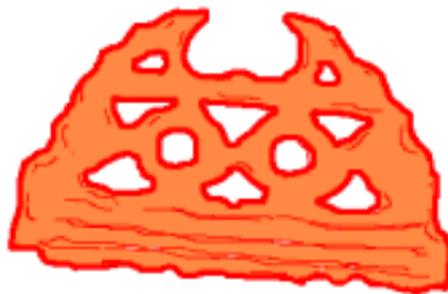
北海道教育庁 生涯学習推進局 文化・スポーツ課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：[kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp)

ホームページ：<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/index>



重要文化財北海道カリンバ遺跡墓坑出土品（恵庭市・縄文時代）

## 平成20年度文化財保護の主なあゆみ

### 新指定の文化財

平成20年7月10日付けで上ノ国町の「**北海道上之国勝山館跡出土品**」が重要文化財に指定されました。この他に、国史跡標津遺跡群の追加指定1件、道の有形民俗文化財1件が指定され、国の登録文化財には2件が登録されました。

### 世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県が共同提案した「**北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群**」が、平成21年1月5日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。4道県と関係12市町村は、平成21年度から登録推進のための体制を整備し、平成27年度前後の世界遺産委員会での審議に向けて、推薦書の作成等に着手する予定です。

### 北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関5者と共同で、平成20年度新たに毎年10月8日～11月7日を**北海道文化財保護強調月間**に設定しました。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成20年度は月間期間中に、39市町管内で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど68事業が実施され、多くの方が参加しました。

### アイヌ民俗文化財の保存・伝承

アイヌ民俗文化財の保存・伝承事業を実施し、3冊の報告書を作成するとともにアイヌ用語学習講座、アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座などを道内14～17会場で実施しました。

### 文化財の保存整備

北海道や市町村などが主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を18件実施しました。このうち、恵庭市では縄文時代のお墓の中にあつた北海道カリンバ遺跡墓坑出土品の修理を継続して行っており、平成20年度には、漆塗り櫛6点などの修理を行いました。

### 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、工事や開発から保護するために172件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は92件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報をご覧ください。

## 1 新たに指定・登録された文化財

平成 20 年度は国の重要文化財に 1 件、道の無形民俗文化財に 1 件が指定され、国の登録文化財には 2 件が登録されました。また、国指定史跡の追加指定が 1 件ありました

### ●重要文化財

- ①上ノ国町「北海道上之国勝山館出土品」(平成 20 年 7 月 10 日付け)
- ②標津町「標津遺跡群」追加指定(平成 20 年 7 月 28 日付け)

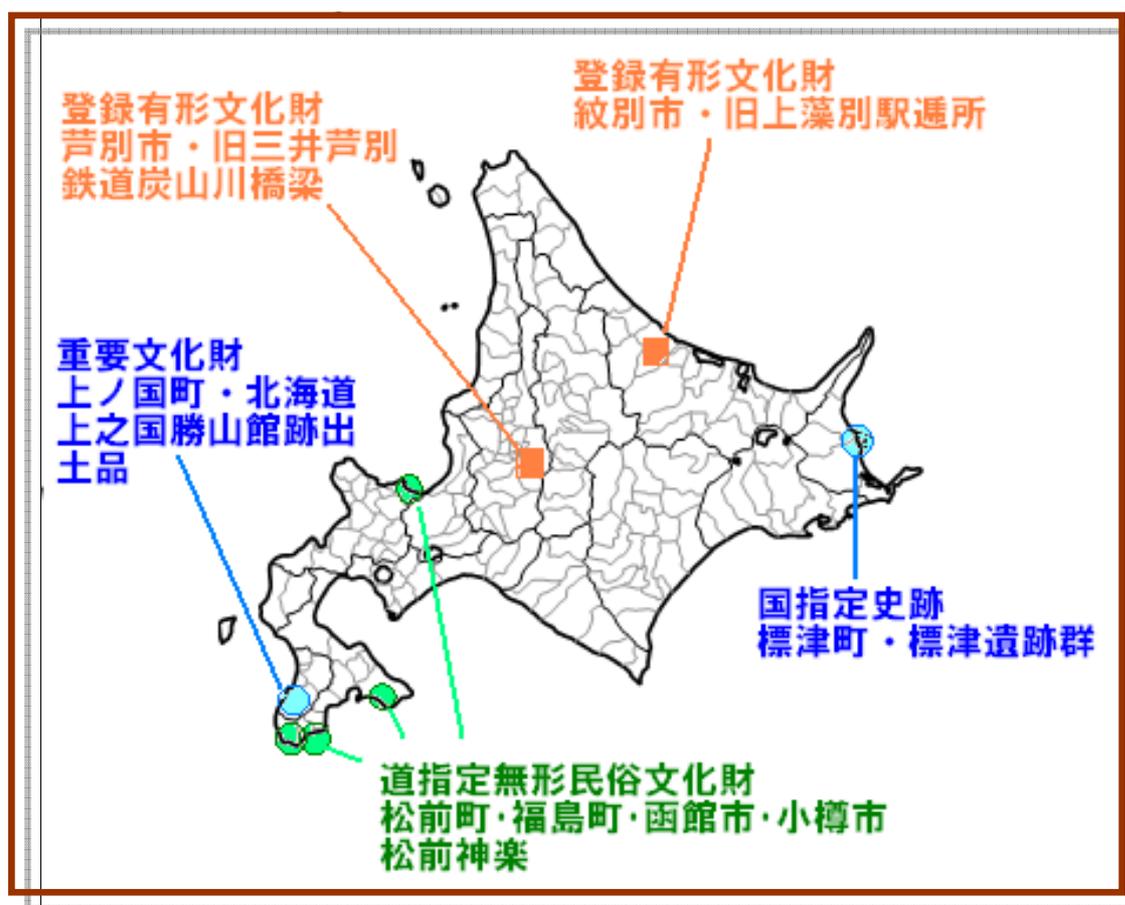
### ●道指定無形民俗文化財

- ①松前町・福島町・函館市・小樽市「松前神楽」(平成 20 年 6 月 13 日付け)

### 登録文化財(有形文化財)

- ①紋別市「旧上藻別駅通所」(平成 20 年 10 月 23 日付け)
- ②芦別市「旧三井芦別鉄道炭山川橋梁」(平成 21 年 1 月 8 日付け)

### 新指定文化財の位置



## 重要文化財 北海道上之国勝山館跡出土品（上ノ国町）



館内の井戸の中から出土した「つるべ」



明朝の磁器 図案化されたアラビア文字を描いています



中国製の銅銭 金銀を用いた高額貨幣はまだありません



アイヌの墓に副葬された飾り太刀

【解説】史跡「北海道上之国館跡（かみのくにたてあと）」は、15～16世紀に道南の豪族蠣崎（かきざき）氏が経営した3つの城館の遺跡です。中でも最も規模の大きい「勝山館（かつやまだて）跡」では、昭和54年から町教育委員会が史跡整備のための発掘調査を継続的におこない、平成19年度までに建物跡300棟以上、出土品7万点余りなど膨大な文化財が発見されています。

このうち主要な出土品921点が「北海道南部における当時の生活や、本州と北海道の交易・物資の流通、アイヌの人々との関係等を解明するうえで欠かせない資料である」として重要文化財に指定されました。

指定物件は主に16世紀代の勝山館における生活用具や、館の背後にある墓地から出土した副葬品などです。この中には中国・朝鮮半島製の陶磁器やアイヌ民族の使用した器具類も多く、「大航海時代」の極東に広がる海上交易路の重要な拠点であった当時の上ノ国の繁栄をうかがわせる内容となっています。

【所在地】上ノ国町役場内（檜山郡上ノ国町字大留100）詳しい場所はこちら（[googlemap](#)）

【問い合わせ先】上ノ国教育委員会 電話0139-55-2230

ホームページ：<http://www.town.kaminokuni.lg.jp/rekishi/default.htm>

勝山館跡ガイダンス施設 電話0139-55-2400

ホームページ：<http://www.town.kaminokuni.lg.jp/rekishi/default.htm>

## 道指定無形民俗文化財 松前神楽（松前町・福島町・函館市・小樽市）



**四箇散米舞**  
(しかさごまい)



**庭散米舞**  
(にわさごまい)

【解説】松前廣長が編纂した「福山秘府」の延宝2年（1674）の条に初めて神楽を修行したとあるのが、記録に現れた松前における神楽に関係する最初の記述です。19世紀初めの記録には、松前城下7社及び東西各村の神職が合同して毎年正月に城内で獅子神楽を修行し、隔年の11月15日には大神事湯立神楽を興行したとあります。今日伝わる松前神楽は、この際に行われたものとされています。今日まで伝わる松前神楽は、12事の鎮釜湯立の儀式と21事の舞楽を合わせた33の神事で構成されています。

松前神楽は、江戸時代以来の伝統を引き継ぎながら、道内各地で、それぞれの地域の特色を加えつつ広く行われるようになったもので、芸能の変遷の過程及び地域的特色を示す民俗芸能として重要であることから平成20年6月9日、北海道の無形民俗文化財に指定しました。

### 【保護団体】

松前神楽北海道連合保存会（松前町）松前神楽函館連合保存会（函館市）、  
松前神楽小樽ブロック保存会（小樽市）、松前神楽松前ブロック保存会（松前町）、  
福島町松前神楽保存会（福島町）

【問い合わせ先】松前神楽北海道連合保存会（松前町教育委員会内 電話 0139-42-3060）

## 登録有形文化財 旧上藻別駅通所（紋別市）



【解説】道路に東面して建ち、南北棟の入母屋造鉄板葺平屋建の本館とその南端に付く、東西棟の寄棟造鉄板葺2階建の増築部からなります。外壁は下見板張で、2階窓には装飾的な額縁を付けています。内部はいずれも中廊下式で客室等があります。旧態をよく残し、駅通の歴史を伝えるものです。

昭和15年駅通業務廃止後、旅館や住宅を経て、現在は紋別市にかつてあった鴻之舞金山にまつわる資料展示などを公開し活用されています。

大工は当初が吉村竹次郎で、増築時が徳田裕弥です。

【年代】大正15年／昭和9年増築

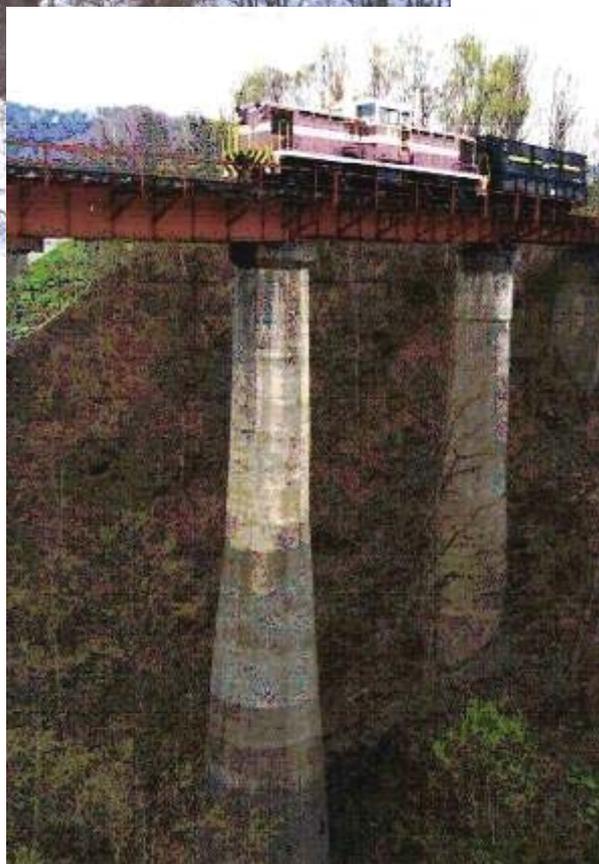
【所在地】紋別市上藻別297-1 詳しい場所は[こちら](#) ([googlemap](#))

【問い合わせ先】紋別市立博物館（紋別市幸町3丁目1-4）

電話：0158-23-4236 メール：[hakubutu@city.mombetsu.lg.jp](mailto:hakubutu@city.mombetsu.lg.jp)

ホームページ：<http://mombetsu.jp/syukai/hakubutukan/>

登録有形文化財 旧三井芦別芦別鉄道炭山川橋梁（芦別市）



【解説】芦別市中心部の南方を流れる石狩川水系炭山川に架かる旧鉱山鉄道の橋梁です。

単線仕様の全長 94m で、鋼製 6 連のプレートガーター桁橋とコンクリート造 2 連アーチ橋からなり、線形は緩やかな曲線となっています。

深い溪谷に最高約 30m の橋脚が連続して立つ特徴的な外観です。

【年代】昭和 20 年頃

【所在地】芦別市中の丘町～西芦別町 詳しい場所は [こちら](#) ([googlemap](#))

【問い合わせ先】芦別市星の降る里百年記念館（芦別市北 4 条東 1 丁目 1-3）

電話：0124-24-2121 F A X：0124-24-2124

## 2 世界遺産登録を目指して

平成 18・19 年度に文化庁が地方公共団体に対して、世界文化遺産の候補となるべき資産の提案を呼びかけ、平成 19 年 9 月に北海道・北見市・標津町が共同で「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を、また同年 12 月に北海道・青森・秋田・岩手の 4 道県および資産の所在する 12 市町が共同で「北海道・北東北の縄文遺跡群」を、「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載するよう提案したことは昨年度の年報で紹介したとおりです。

その後、文部科学大臣の諮問機関である「文化審議会」に設置された「世界文化遺産特別委員会」（以下、特別委員会という）において上記の 2 件を含む国内各地 32 件の資産が調査・審議された結果、平成 20 年 9 月、特別委員会は「北海道・北東北の縄文遺跡群」を含む 5 件を「暫定一覧表」に記載することが適当であるとの報告をまとめました。

### （1）「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」について

平成 20 年 12 月には、外務省所管の「世界遺産条約関係省庁連絡会議」で先の 5 件のうち「縄文遺跡群」を含めた 3 件の「暫定一覧表」への追加記載が了承され、ユネスコ世界遺産センターへの提出を経て、平成 21 年 1 月 5 日に正式に記載されました。

この記載に際して資産の名称は「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」に改められました。これは日本全体の縄文文化遺産を代表する遺跡群として推薦するうえでは、さらに広い地域の資産を追加する必要があるとの特別委員会の考え方を反映したものです。今後は、政府による正式な推薦、国際記念物遺跡会議（ICOMOS）の調査・評価、ユネスコ世界遺産委員会での審議という流れを想定しておりますが、登録案件の抑制という最近の状況の中で、十分な条件整備が必要と考えられます。

4 道県および 12 市町では、平成 21 年度から登録推進のための体制を整備し、文化庁とも緊密な連携を保ちながら平成 27 年度前後の世界遺産委員会での審議に向けて推薦書の作成等に着手する予定です。遺跡群の内容を紹介し、その価値についての議論を深めるためのフォーラムや展示会等も逐次開催して参りますので、ぜひ皆様方のご参加・ご協力をお願いいたします。

### （2）「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成 20 年 9 月の特別委員会報告において、この資産の「暫定一覧表」への記載は見送られ、「暫定一覧表候補の文化資産」とされました。「北海道の寒冷気候のために独特の可視的な遺存状況を示す考古学的遺跡であり、7,000 年にわたる人類と自然との調和の過程を示す考古学的遺跡として、価値は高い」ものの、提案内容のままでは世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとの総合的評価がなされたものです。

北海道と北見市・標津町は、同様な資産を有する道内の市町村とも連携しながらこの竪穴住居跡群の調査研究を行い、道北・道東からオホーツク海沿岸に及ぶ極東北部地域を代表する文化資産としての価値を明らかにする取組みを継続したいと考えています。

・ ホームページ

①暫定一覧表追加資産に関する提案書

縄文遺跡群 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19world-heritage-jomon.htm>

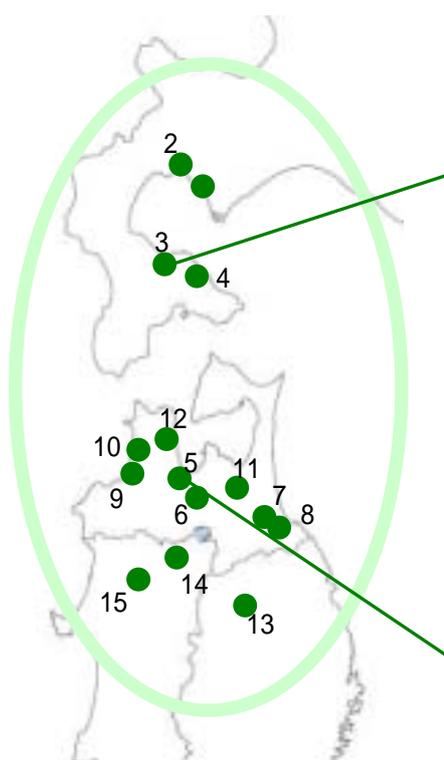
住居跡群 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19world-heritage-tateana.htm>

②文化庁ホームページ「文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会」

<http://www.bunka.go.jp/bunkashingikai/sekaibunkaisan.html>

③外務省ホームページ「文化遺産の保存：世界遺産」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/culture/kyoryoku/isan/index.html>



資産を構成する遺跡群の位置  
(番号は下記の一覧に対応)

### 資産を構成する遺跡群（平成21年1月現在）

- |   |   |
|---|---|
| 1 史跡 <small>きたこがね</small> 北黄金貝塚（北海道伊達市）       | 9 史跡 <small>かめがおか</small> 亀ヶ岡石器時代遺跡（同 つがる市）     |
| 2 史跡 <small>いりえ たかきご</small> 入江・高砂貝塚（同 洞爺湖町）  | 10 史跡 <small>たごやの</small> 田小屋野貝塚（同 つがる市）        |
| 3 史跡 <small>わしのき</small> 鷲ノ木遺跡（同 森町）          | 11 史跡 <small>ふたつもり</small> 二ツ森貝塚（同 七戸町）         |
| 4 史跡 <small>おおふね</small> 大船遺跡（同 函館市）          | 12 史跡 <small>おおだいやまもといち</small> 大平山元Ⅰ遺跡（同 外ヶ浜町） |
| 5 特別史跡 <small>さんないまるやま</small> 三内丸山遺跡（青森県青森市） | 13 史跡 <small>ごしよの</small> 御所野遺跡（岩手県一戸町）         |
| 6 史跡 <small>こまきの</small> 小牧野遺跡（同 青森市）         | 14 史跡 <small>おおゆ</small> 大湯環状列石（秋田県鹿角市）         |
| 7 史跡 <small>これかわ</small> 是川石器時代遺跡（同 八戸市）      | 15 史跡 <small>いせどうたい</small> 伊勢堂岱遺跡（同 北秋田市）      |
| 8 史跡 <small>ちようしちやち</small> 長七谷地貝塚（青森県八戸市）    |   |

### 3 文化財保護強調月間について

「北海道文化財保護強調月間」は、平成20年度新たに、毎年10月8日～11月7日の期間を、北海道教育委員会をはじめ、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会、北海道博物館協会の6者により共同で、設定したものです。

この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、月間期間中に、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施するものです。

平成20年度は、第1回目として、39市町管内で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど68事業が実施されました。

指定文化財の一般公開は、函館市「箱館奉行所復元工事」や小樽市「旧手宮鉄道施設」の修理工事など普段見られない現場公開や、平成20年7月10日に重要文化財に指定された上ノ国町「上之国勝山館出土品」のお披露目展などが行われました。各種イベントは、登別市「縄文どきどきまつり」、上湧別町「1日屯田兵」宿泊体験や厚真町「昔の農家の道具体験」など、昔の生活技術や身近に残る題材を利用した体験型事業が実施されました。

北海道開拓の村では芝居「漁場の一年」が上演され、秩父別町民文化祭では無形文化財「筑紫神楽獅子舞」が披露されるなど、見て楽しいものも数多く実施されました。地元に残る芸能文化も又、郷土の歴史を伝える重要な文化財です。これら事業には、多くの方々が参加しました。

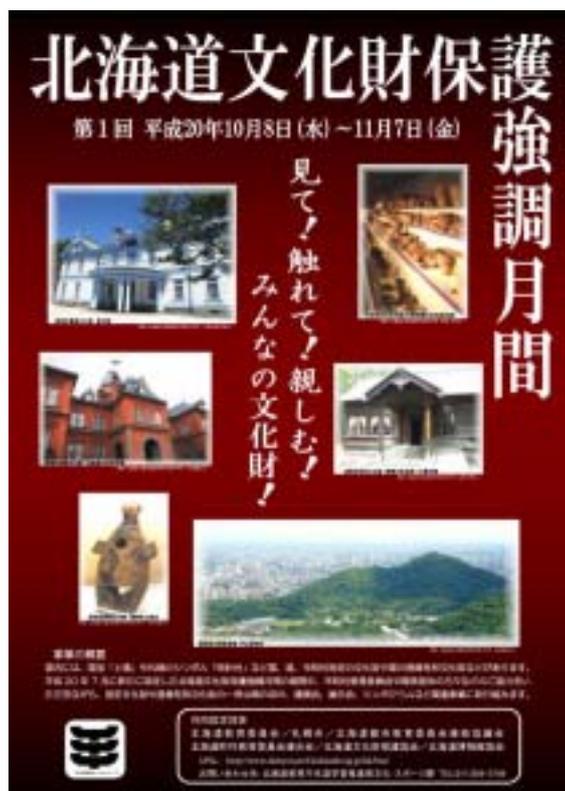
また、第1回北海道文化財保護強調月間ポスターには、札幌西高等学校、江別高等学校、千歳北陽高等学校の生徒の皆さんが、文化財を題材として撮影した写真を掲載しました。様々なかたちで、児童・生徒の皆さんに、そして、広く道民の方々に文化財を身近に親しんでいただく機会づくりを、市町村教育委員会等の協力を得ながら、今後とも取組みます。

・文化財保護強調月間について→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkkan.htm>

・高校生の撮影した文化財写真集→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkkansyasinsyu.htm>



### 「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち6団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しみ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成20年7月17日



「昔の農機具体験」厚真町 11月3日  
藁を編んでいます。

「タヌキの皮なめし体験」  
伊達市 10月18日



「登別縄文どきどき祭り」  
登別市 10月11日(土)  
火起こし体験

## 4 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

### (1) アイヌ民俗文化財調査

アイヌ民俗文化財に関わる次の2件の調査事業等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に関係する道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配布し、活用を図りました。

#### ① アイヌ民俗文化財に関する調査事業

アイヌ民族に伝統的な生業活動である狩猟技術に関する調査を行い、その成果を次の報告書として刊行しました。

- ・『平成20年度アイヌ民俗文化財調査報告書（アイヌ民俗技術調査1）〈狩猟技術〉』

(B5判 237p.)

#### ② 金成<sup>かんなり</sup>マツノート整理・翻訳、刊行事業

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・金成<sup>かんなり</sup>マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

- ・ユーカラシリーズ 31『アイヌ英雄叙事詩「アトゥイヤの女」』(B5判 276p.) 蓮池悦子訳
- ・ユーカラシリーズ 32『アイヌ英雄叙事詩「金の草靴の六人の兄」』(B5判 319p.) 高橋靖以・切替英雄・蓮池悦子訳
- ・ユーカラシリーズ 33『アイヌ英雄叙事詩「夜も昼も気が狂って我が兄泣く」』(B5判 246p.) 萱野志朗訳

### (2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活動事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、基本的な生活用語や伝統的な風俗習慣及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

① アイヌ文化を理解するための基本的なアイヌ用語学習講座：道内 14 会場(延べ 368 講座、延べ参加人員 4,560 人)

② アイヌの伝統的有形、無形の風俗習慣に関する伝承講座：道内 17 会場(延べ 161 講座、延べ参加人員 1,728 人)

③ アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座：道内 17 会場(延べ 109 講座、延べ参加人員 1,595 人)



アイヌ古式舞踊練習風景

## 5 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護・保存をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、国宝の土偶、重要文化財の建物や縄文時代の漆製品、古銭などの保存や修理、史跡・名勝の保全や土地の公有化などの事業を行いました。

種別	名称	事業内容	事業者
国宝	土偶	函館市(旧南茅部町)著保内野遺跡で発見された縄文時代の土偶で、縄文時代後期を代表する優品として、また土偶造形の到達点を示すものとして、極めて貴重であることから、国宝に指定されました。 20年度は、土偶の現状について、エックス線撮影等による詳細な画像データを収集するとともに、土偶の頭部、剥離部等を補強する保存処理を行い、併せて保存箱・保存台の作製を行いました。	函館市
重要文化財	北海道美々8遺跡(びび8いせき)出土品	北海道美々8遺跡出土品は、千歳市美々8遺跡の低湿地から発見された木製品を中心とする資料です。 20年度は、木製品用保存台12台を作製するとともに、出土品の現況を計200カットのデジタル写真により記録しました。	北海道
重要文化財	旧手宮鉄道施設	旧手宮鉄道施設は、明治13年(1880)11月に開通した北海道最初の鉄道「幌内鉄道」の起点である旧手宮駅構内とその周辺に残された機関車庫、転車台、貯水槽、危険品庫、擁壁などからなります。 このうち明治18年竣工で最も傷みの激しい機関車庫三号について、平成18年度から修理工事を実施しています。平成20年度の主な修理内容は耐震補強工事です。基礎を補強の上、建物内部に鉄骨を組み上げて、耐震構造を高めました。	小樽市
重要文化財	志海苔(しのり)中世遺構出土銭	志海苔中世遺構出土銭は、昭和43年の国道拡幅工事の際に函館市志海苔漁港付近で発見された37万枚を超える大量の銅銭です。 20年度は、出土銭85,435枚の保存処理及び出土銭保存箱の作製を行いました。	函館市
重要文化財	カリンバ遺跡墓坑(ぼこう)出土品	カリンバ遺跡墓坑出土品は恵庭市カリンバ遺跡の縄文時代のお墓から出土した漆製品などの副葬品です。 20年度は、漆塗り櫛6点、腕輪6点、胸飾り1点、耳飾り2点の修理を行い、保存箱7点を製作しました。	恵庭市

重要文化財	旧花田家番屋	北海道屈指の鯨漁家である花田伝作が明治 37 年(1904)頃に建築した鯨番屋です。 20 年度は建物脇に設置されている放水銃の交換を行い、防火設備の充実を図りました。	小平町
重要文化財	正行寺(しょうぎょうじ) 本堂	浄土真宗正行寺本堂は、江戸時代の寛政 11 年(1799)に建築された新潟県糸魚川市の満長寺本堂を明治時代に厚岸町に移築したものです。 平成 15 年の十勝沖地震による壁の亀裂などの被害や経年変化による床組部材の腐朽などの損傷が大きく、修理工事を平成 18 年度から実施し、20 年度で終了しました。 現在では、明治 43 年に移築した当時の姿に復旧整備されています。	正行寺 (厚岸町)
重要文化財	蝦夷三官寺善光寺(えぞさんかんじぜんこうじ)関係資料	善光寺は、蝦夷地で死亡した武士、商人や出稼ぎ人などの供養及び邪宗門禁制のため、江戸時代に建立されました。 20 年度は、念仏上人画像 1 点の修理を行うとともに、本関係資料を収蔵するための施設の建設に着工しました。 収蔵施設は 20・21 年度にかけて建設し、22 年度秋の開館を目指しています。	善光寺 (伊達市)
重要文化財	上国寺(じょうこくじ) 本堂	宝暦 8 年(1758)に建てられた浄土宗のお寺で、北海道では数少ない 18 世紀にさかのぼる建築物です。 経年劣化による損傷が大きく、平成 20 年度から 22 年度までの計画で修理事業を開始しました。20 年度はおもに本堂の解体を行い、損傷状況や過去の修理内容などを調査しました。	上国寺 (上ノ国町)

### 指定文化財の保存整備



修復された志海苔(しのり)中世遺構出土銭





修復された厚岸町正行寺とその内部



念仏上人画像（伊達市蝦夷三官寺善光寺関係資料） 修復前 修復後

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭は、中世ヨーロッパの城塞都市をモデルに、元治元年(1864)に作られた洋式城郭です。 平成 17 年から遺構を確認するための発掘調査、石垣の修復を継続して実施しています。また、19 年度から箱館奉行所庁舎の復元整備事業にも着手し、20 年度も継続しています。	函館市
史 跡 天然記念物	標津遺跡群 標津湿原	標津遺跡群は縄文時代からアイヌ文化期にかけての竪穴住居跡やチャシ跡が確認されています。また、標津湿原は標津川下流とポー川に挟まれた地域にあり、エゾゴゼンタチバナなど 80 種類の湿原植物が生育しています。 20 年度は継続事業として、遺跡の内容を確認するための発掘調査、説明版の設置、湿原散策のための木道整備を実施しました。	標津町
史 跡	ユクエピラチ チャシ跡	ユクエピラチチャシ跡はアイヌのチャシ跡の中では道内屈指の規模のもので、利別川近くの険しいがけの頂上にあり南北 110m、周りに掘られた壕の深さは 3m にもなります。 20 年度はチャシ跡の盛土の復元工事、園路整備を実施し、案内板を設置しました。	陸別町
史 跡	大船遺跡	大船遺跡は、大舟川左岸の台地にある縄文時代中期の遺跡で、平成 13 年に国の史跡に指定されました。 20 年度は園路の整備工事、竪穴住居跡復元整備のための設計などを実施しました。	函館市
名 勝	旧岩船氏庭園 (香雪園)	旧岩船氏庭園(香雪園)は、道内有数の呉服商であった岩船家が明治 31 年(1898)(一説に明治 28 年ともいう)頃から湯川地区に造成した和洋織り交ぜた大規模で本格的な庭園です。 20 年度は板倉・温室の修理工事を実施しました。また、ガイドンス機能をもつ緑のセンターが開館しました。	函館市
史 跡	最寄貝塚	最寄貝塚は、網走川がオホーツク海に注ぐ河口左岸の砂丘上にあるオホーツク文化を中心とする遺跡です。 20 年度は史跡の境界に杭、フェンスを設置しました。また、15～20 年度に実施した発掘調査報告書も刊行しました。	網走市

史 跡	上之国館跡	<p>上之国館跡は 16 世紀頃に築かれた勝山館跡・洲崎館跡・花沢館跡をあわせて平成 18 年に追加・統合指定されたものです。</p> <p>20 年度は勝山館跡旧道路と荒神堂跡を確認するための調査を実施しました。また、勝山館の大手の入口に小広場をつくり、案内看板を設置しました。</p>	上ノ国町
-----	-------	--	------



**函館市特別史跡五稜郭  
箱館奉行所の復元工事が  
進んでいます。**

**標津町史跡標津遺跡群  
発掘調査の様子**



**陸別町史跡ユクエピラチャシ跡  
盛土（白い部分）が復元  
整備されました。**

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要伝統的 建造物群	函館市元町末 広町重要伝統 的建造物群保 存地区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切に守るため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。20年度は、真壁家住宅主屋など7件の修理事業、金森堀割の復旧を実施しました。	函館市
重要文化的 景観	アイヌの伝統 と近代開拓に よる沙流川流 域の文化的景 観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。 20年度は、博物館に隣接するチセの復元や現地説明会の開催、文化的景観解説リーフレット作製の普及啓発事業を行いました。	平取町



函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区  
(金森堀割)

(修理前)

(修理後)



平取町重要文化的景観 復元されたチセ

## 6 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道・市町村の教育委員会とが前もって協議をおこない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、できるかぎりの調整をおこなっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような開発や工事から埋蔵文化財を保護するため、10,755.211ha について所在調査を、145.789ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を図りました。

### 埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

① 工事や開発を計画 

②  埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます

※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合

③  埋蔵文化財保護のための事前協議書提出(工事等の計画者→市町村→道教委へ)

④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。  
(川や海のそばの高台は特に要注意！)

土器・石器などが落ちていないか  
実際に現地を歩いてみて調査します。



遺跡が所在しない場合は着工



⑤ 試掘調査 (市町村・北海道教育委員会実施)



重機・スコップなどで地面を掘ってみます。



掘った土の中に土器・石器等があるか  
調べます。



昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。 (出土した土器、約 2000 年前のもの)  
(中央の黒い土のシミが、縄文時代の穴の跡)



遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。  
(北海道教育委員会など)

- (1)現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2)発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3)工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会職員が立ち会う。
- (4)慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。



⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

## 7 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査や分布調査などを行いました。

種別	名称	事業内容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	個人住宅建設に伴う高砂遺跡の発掘調査、開発行為が予想される元野幌1遺跡の広がりや内容を確認するための分布調査を実施しました。	江別市
埋蔵文化財	市内遺跡	縄文時代の馬蹄形の盛土が確認されている垣ノ島A遺跡の発掘調査、開発事業に伴う豊原2遺跡の発掘調査と、開発が予想される1カ所の試掘調査を実施しました。	函館市
埋蔵文化財	町内遺跡	自然崩壊で消滅の危機にあったツペットウンチャシの発掘調査を実施しました。調査の結果、2つの塚が確認され、刀や鉄鍋、碗などの遺物が出土しました。	津別町
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される地区の所在調査を行い、新たに2カ所の遺跡を確認しました。また、1遺跡の広がりや内容を確認するための分布調査を実施しました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	幕末に急きょ作られた松前藩の城である館城の堀・土塁などの残り具合や、柵列・米倉跡を確認するため発掘調査を実施しました。	厚沢部町
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡福山城の石垣を切り出した神明石切り場跡の測量と発掘調査を実施しました。調査の結果、番所跡を確認し、幕末の陶磁器などが出土しました。	松前町
埋蔵文化財	町内遺跡	縄文時代の環状列石がある史跡鷺ノ木遺跡の広がりを確認するための分布調査を実施しました。調査の結果、環状列石と同時期の竪穴住居跡を確認しました。	森町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される14カ所の所在調査と、22カ所の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。また平成16～20年までの調査結果をまとめた報告書を作成しました。	札幌市
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される1カ所の試掘調査と、広がりや内容を確認するための2遺跡の分布調査を実施しました。	恵庭市
埋蔵文化財	町内遺跡	縄文時代の貝塚がある国指定史跡入江・高砂貝塚の範囲や内容を確認するための発掘調査を実施しました。	洞爺湖町

埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	千歳市内から出土した土器・石器などの埋蔵文化財を展示し、普及活用事業を実施するための埋蔵文化財センターを平成20年度から建設しています。完成は21年度の予定です。	千歳市
埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	史跡鷲ノ木遺跡に関する展示会を開催したほか、パンフレットを作成し配布しました。期間中には505の方が見学に訪れました。	森町



**函館市垣ノ島A遺跡**  
縄文時代の配石遺構



**森町鷲ノ木遺跡**  
環状列石と同じ頃の住居跡



**津別町ツベットウンチャシ**  
アイヌ文化期のチャシ壕



**洞爺湖町史跡入江・高砂貝塚**  
近世(江戸時代)の貝塚

## 8 発掘調査

平成 20 年度は北海道内で 92 件、153,348 m<sup>2</sup>の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	59	66,287 m <sup>2</sup>
財団法人北海道埋蔵文化財センター	19	84,040 m <sup>2</sup>
大学・博物館等	14	2,955 m <sup>2</sup>

### 竪穴住居跡の調査（函館市豊崎B遺跡）

縄文早期 1 軒、後期 14 軒の竪穴住居跡が検出されました。後期の住居跡からはアワビの貝殻痕のついたアスファルト塊が出土しました。



### チャシ跡の調査（厚真町ラチャラセナイチャシ跡）



隅丸方形の壕のめぐるチャシ跡が検出されました。内部には平地式建物跡 1 軒がみつかかり、主に儀礼場として用いられていたと考えられます。



平成 20 年度の発掘調査の概要は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shichousonhakkutugaiyouH20.htm>

<http://www.domaibun.or.jp/nenpo21.pdf> をご覧ください。

## Ⅱ 資料編

### 1 文化財

#### (1)文化財の指定状況(国指定・道指定)

国 道	区 分	種 別	地域を定めず	石	渡	檜	後	空	上	宗	留	網	胆	日	十	釧	根	国	計	
				狩	島	山	志	知	川	谷	萌	走	振	高	勝	路	室	保		
国	指 定	国宝			1														1	
		重要文化財		13	13	5	3		1	1	2	1	3	1	1	2			5	51
		重要無形文化財																		0
		重要有形民俗文化財		1	1						1			1						4
		重要無形民俗文化財		1																1
		特別史跡			1															1
		史跡		8	9	2	6	1			1	4	6	1	2	6	3			49
		名勝			1								1							2
		特別天然記念物	1	1						1				1	1		1			6
		天然記念物	14	2	2	2	2	2	2		2	1	1	2	1	5	3			41
		小計	15	26	28	9	11	3	4	1	6	7	11	6	4	14	6	5		156
	選 定	重要伝統的建造物群保存地区			1															1
		重要文化的景観												1						1
		小計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		2
	登 録	有形文化財（建造物）		16	9	1	11	24	10	2		6	6	1	6		4			96
		記念物			1															1
		小計	0	16	10	1	11	24	10	2	0	6	6	1	6	0	4	0		97
	道	指 定	有形文化財		5	31	7	5	3		3	2	2	4	1	4	2	3		72
			有形民俗文化財		2	1	3													
無形民俗文化財					2	5														7
史跡					4	1	3	1	1	2		5	2	2	4	1				26
名勝									1				1							2
天然記念物					2	1		4	1	5		5	1	1	7	1	3			31
小計			0	7	40	17	8	8	3	10	2	13	7	4	15	4	6	0		144
合 計			15	49	79	27	30	35	17	13	8	26	24	12	25	18	16	5	399	

・北海道の文化財→<http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo.htm>

## (2)国指定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定して保存を図る文化財です。

### 〔国宝〕

(平成21年3月31日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	函館市	H19.6.8

### 〔重要文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	札幌市	S8.1.23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	札幌市	S11.9.18
3	福山城（松前城）本丸御門	松前町	S16.5.8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	帯広市	S25.8.29
5	浜松千鳥図罫 銘安親	北見市	S30.2.2
6	刀 無銘伝来国行	札幌市	S31.6.28
7	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）	室蘭市	S37.6.21
8	豊平館	札幌市	S39.5.26
9	木造大日如来坐像（本堂安置）	函館市	S42.6.15
10	北海道庁旧本庁舎	札幌市	S44.3.12
11	旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市	S44.3.12
12	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	札幌市	S44.8.19
13	旧札幌農学校演武場（時計台）	札幌市	S45.6.17
14	旧三戸部家住宅	伊達市	S46.12.28
15	旧花田家番屋	小平町	S46.12.28
16	旧下ヨイチ運上家	余市町	S46.12.28
17	旧中村家住宅	江差町	S46.12.28
18	太刀川家住宅店舗	函館市	S46.12.28
19	人形装飾異形注口土器（北海道上磯郡上磯町茂辺地出土）	北斗市	S48.6.6
20	旧函館区公会堂	函館市	S49.5.21
21	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	千歳市	S54.6.6
22	函館ハリストス正教会復活聖堂	函館市	S58.6.2
23	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙墓出土）	千歳市	S63.6.6
24	旧旭川偕行社	旭川市	H1.5.19
25	北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市	H1.5.19
26	北海道美利河1遺跡出土品	今金町	H3.6.21
27	北海道湯の里4遺跡土壙出土品	知内町	H3.6.21

28	龍雲院	松前町	H4. 1. 21
29	旧笹浪家住宅	上ノ国町	H4. 1. 21
30	正行寺本堂	厚岸町	H4. 1. 21
31	法源寺山門	松前町	H5. 4. 20
32	上國寺本堂	上ノ国町	H5. 4. 20
33	北海道江別太遺跡出土品	江別市	H5. 6. 10
34	北海道元江別1遺跡土壙墓出土品	江別市	H7. 6. 15
35	北海道コタン温泉遺跡出土品	八雲町	H9. 6. 30
36	北海道目梨泊遺跡出土品	枝幸町	H12. 6. 27
37	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	函館市	H13. 6. 15
			H16. 12. 10
38	旧手宮鉄道施設	小樽市	H13. 11. 14
39	北海道志海苔中世遺構出土銭	函館市	H15. 5. 29
40	旧本間家住宅	増毛町	H15. 12. 25
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
42	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
43	箱館奉行所文書	札幌市（北海道立 文書館）	H16. 6. 8
44	北海道美々8遺跡出土品	江別市（北海道立埋 蔵文化財センター）	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺善光寺関係資料	伊達市	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺等澍院関係資料	様似町	H17. 6. 9
47	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	厚岸町	H17. 6. 9
48	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	恵庭市	H18. 6. 9
49	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	松前町	H18. 6. 9
50	大谷派本願寺函館別院	函館市	H19. 12. 4
51	北海道上之国勝山館出土品	上ノ国町	H20. 7. 10

※国保有重要文化財（No.7・19 東京国立博物館保管、No.23 北海道立埋蔵文化財センター、No.34 江別市郷土資料館、No.41 伊達市教育委員会）

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシャマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡	松前町 厚沢部町	S10. 6. 7 H14. 9. 20
6	モシリヤ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
7	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
8	鶴ヶ岱チャランケ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
9	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
10	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
11	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
12	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
13	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
14	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
15	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
16	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
17	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
18	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
19	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
20	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
21	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23

22	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
23	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
24	大館跡	松前町	S52. 4. 5
25	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
26	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
27	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
28	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
29	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
30	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
31	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
32	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
33	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
34	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
35	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
36	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
37	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
38	北黄金貝塚	伊達市	S62. 12. 25
39	入江・高砂貝塚	洞爺湖町	S63. 5. 13
40	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
41	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
42	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26
43	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9. 3. 11
44	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアップペツチャシ跡	新ひだか町・日高町	H9. 12. 2
45	江別古墳群	江別市	H10. 9. 11
46	大谷地貝塚	余市町	H12. 11. 20
47	大船遺跡	函館市	H13. 8. 13
48	カリンバ遺跡	恵庭市	H17. 3. 2
49	鷲ノ木遺跡	森町	H18. 1. 26

[名 勝]

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13. 12. 14

2	旧岩船氏庭園（香雪園）	函館市	H13. 8. 13
---	-------------	-----	------------

【特別天然記念物】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ（植物）	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林（植物）	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落（植物）	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山（地質）	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山（地質）	上川町・東川町・美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S27. 3. 29

【天然記念物】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯（植物）	倶知安町・京極町・喜茂別町・真狩村・ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林（植物）	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林（植物）	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地（植物）	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落（植物）	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林（植物）	登別市	T13. 12. 9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯（植物）	厚沢部町	S3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯（植物）	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地（動物・魚類）	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬（動物・犬類）	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地（動物・鳥類）	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石（鉱物）	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧（鉱物）	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石（地質）	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地（植物）	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地（植物）	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地（動物・昆虫）	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地（動物・鳥類）	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒヒョウモン（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマゲラ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12

24	イヌワシ（動物・鳥類）	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原（天然保護区域）	標茶町・鶴居村・釧路町	S42. 7. 6
27	オジロワシ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・新潟県	S45. 1. 23
28	オオワシ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45. 1. 23
29	沙流川源流原始林（植物）	日高町	S45. 12. 4
30	エゾシマフクロウ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S46. 5. 19
31	コクガン（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46. 5. 19
32	ヒシクイ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落（植物）	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島（地質）	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリユウ化石（鉱物）	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原（植物）	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林（植物）	羽幌町	S58. 8. 30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯（植物・地質）	夕張市・南富良野町	H8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地（鉱物）	足寄町	H12. 9. 6

【重要文化的景観】

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 26

・国指定文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

（3）道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

【有形文化財】

（平成 21 年 3 月 31 日現在）

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	伊達市	S34. 2. 24

5	夷酋列像粉本	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鎌遺跡出土の遺物	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	函館市	S43. 3. 29
22	椴法華出土の尖底土器	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅通	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	上ノ国町	S52. 3. 11

40	円空作聖観音像	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K-4 4 6 遺跡出土の遺物	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイボ遺跡出土の遺物	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	松前町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	小樽市	H6. 2. 9
63	奥行白駒通	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	豊頃町	H13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	根室市	H20. 3. 18

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
-----	-----	-------	-------

1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市	H19. 3. 20

【無形民俗文化財】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町・福島町・函館市・小樽市	H20. 6. 13

【史 跡】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓及び出土遺物	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家噴墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鋳炉跡	函館市	S42. 3. 17

16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

【名 勝】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

【天然記念物】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアクセシウ群落	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鍾乳洞	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球類	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	帯広市	S43. 1. 18

18	茅部の栗林	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	鹿追町・上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮎生息地	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	乙部町	S47. 4. 1
26	オシュンコシュン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	帯広市	S49. 12. 6
29	タキワカイギウ化石標本	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	礼文町	H6. 6. 3
31	黄金水松	芦別市	H14. 3. 29

・道指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-do-sitei.htm>

#### (4)管内別市町村指定文化財一覧

管内	有形文化財(建造物)		有形文化財 (美術工芸品)	無形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然 記念物	伝統的 建造物群	計
	件数	(棟数)			有形	無形					
石狩	8	(8)	24	1	0	3	5	0	1	0	42
渡島	2	(2)	108	0	12	15	8	4	8	0	157
桧山	7	(10)	50	0	9	12	4	1	1	0	84
後志	7	(7)	29	1	0	11	24	1	12	0	85
空知	15	(16)	34	3	4	17	10	0	10	0	93
上川	15	(15)	19	1	0	9	16	0	21	0	81
留萌	2	(2)	3	0	3	7	42	0	1	0	58
宗谷	15	(15)	13	0	0	2	14	0	7	0	51
網走	8	(8)	13	0	3	1	6	0	7	0	38
胆振	6	(6)	32	0	12	14	21	0	15	0	100
日高	1	(1)	17	3	0	0	1	1	1	0	24
十勝	2	(2)	36	0	1	8	6	0	14	0	67
釧路	3	(3)	14	2	0	2	6	0	14	0	41
根室	2	(6)	14	0	1	2	6	0	21	0	46
合計	93	(101)	406	11	45	103	169	7	133	0	967

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/NR/rdonlyres/2687E7F2-5763-4874-9E05-C79B0D4B8CCF/0/h19shichoson.pdf>

### (5)管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物	管内	有形文化財	記念物	管内	有形文化財	記念物
石狩	16	0	上川	10	0	日高	1	0
渡島	9	1	留萌	0	0	十勝	6	0
桧山	1	0	宗谷	2	0	釧路	0	0
後志	11	0	網走	6	0	根室	4	0
空知	24	0	胆振	6	0	合計	96	1

### (6)登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

[有形文化財]

(平成21年3月31日現在)

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	札幌市資料館(旧札幌控訴院)	札幌市	H9.5.7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9.5.7
3	北海道大学古河記念講堂(旧東北帝国大学農科大学林学科教室)	札幌市	H9.9.3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10.7.23
5	北星学園創立百周年記念館(旧北星女学校宣教師館)	札幌市	H10.9.2
6	日本キリスト教団札幌教会(旧札幌美以教会堂)	札幌市	H10.9.2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11.7.8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11.8.23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11.8.23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11.8.23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11.8.23
12	北海道知事公館(旧三井クラブ)	札幌市	H11.10.14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11.10.14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12.2.15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12.2.15
16	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12.4.28
17	北海道大学附属植物園庁舎(旧札幌農学校動植物学教室)	札幌市	H12.4.28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12.4.28

19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館 (旧標本貯蔵室)	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室 (旧マンロー邸)	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館 (旧北海道庁真駒内種畜場事務所)	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫 (リハーサルホール)	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫 (チェアーズギャラリー)	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫 (デザインギャラリー)	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫 (大雪地ビール館)	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場 (旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場)	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9

54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	博物館網走監獄教誨堂	網走市	H17. 7. 12
63	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市	H17. 7. 12
64	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市	H17. 7. 12
65	J R小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
66	J R小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
67	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
68	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
71	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
72	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
73	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
74	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
75	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
84	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
85	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
86	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
87	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
88	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18. 11. 29

89	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
90	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
91	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
92	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
93	星槎大学(旧頼城小学校)校舎	芦別市	H20. 3. 7
94	星槎大学(旧頼城小学校)体育館	芦別市	H20. 3. 7
95	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
96	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8

〔記念物〕

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・ 国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

(7)平成 20 年度北海道文化財保護強調月間実施事業・参加者数一覧

〔展示〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者	参加者数
札幌市	企画展「先史時代のさっぽろ」	札幌市埋蔵文化財センター	7,090
札幌市	第 64 回特別展「古代北方世界に生きた人びと～交流と交易～」	北海道開拓記念館	13,808
江別市	特別展示「交流の考古学 4」	道立埋蔵文化財センター	1,674
函館市	展示「アイヌ語地名を歩く」 パネル展「アイヌ語地名を歩く」	道立アイヌ民族文化研究センター 市立函館博物館	866
函館市	展示「アイヌの伝統工芸～木彫りの技」	函館市北方民族資料館	1,377
函館市	第 3 回高龍寺宝物展～高龍寺ゆかりの「書」	高龍寺宝物展実行委員会	1,552
森町	鷲ノ木遺跡群調査成果展	森町教育委員会	505
北斗市	漁業用道具の展示	北斗市教育委員会	350
知内町	特別展「思い出の松前線」	知内町郷土資料館	323
松前町	道指定文化財 佐藤男破魔 旧蔵刀剣・古文書展示	松前町教育委員会	3,200
妹背牛町	有形文化財展示会	妹背牛町文化連盟	33
月形町	特別展「樺戸集治監水道遺跡」	月形樺戸博物館	1,522
旭川市	旭川市博物館第 54 回企画展「アイヌの工芸」	旭川市博物館	7,198
増毛町	旧商家丸一本間家特別展示「明治・名書家の作品に触れる」	増毛町教育委員会	1,083
礼文町	埋蔵文化財企画展示「日本最北の縄文人が残したもの」	礼文町教育委員会	250
網走市	ロビー展「世界の口琴」	道立北方民族博物館	1,368
洞爺湖町	パネル展「北海道・北東北の縄文遺跡群紹介展」	洞爺湖町教育委員会	—
平取町	二風谷アイヌ文化博物館特別展「ものところ」	町立二風谷アイヌ文化博物館	2,294

平取町	沙流川流域のアンモナイト	沙流川歴史館	3,737
釧路町	釧路町郷土資料展	釧路町文化フェスティバル実行委	558
厚岸町	「正行寺本堂」保存修理事業パネル展	厚岸町教育委員会	205
根室市	「夷酋列像」とクナシリ・メナシの戦いパネル展	根室市教育委員会	500
根室市	根室地方のオホーツク文化パネル展	弁天島ホーツク歴史フォーラム実行委	200
羅臼町	移動展「峯浜の歴史展」	羅臼町郷土資料室	50

### 【指定文化財等の一般公開】

市町村名	公開・活用事業名	主催者	参加者数
函館市	国指定特別史跡箱館奉行所復元工事一般公開	函館市教育委員会	1,736
八雲町	国指定重要文化財コタン温泉遺跡出土品一般公開	八雲町郷土資料館	680
上ノ国町	国指定重要文化財上之国勝山館跡出土品一般公開	上ノ国町文化協会	525
小樽市	国登録有形文化財JR小樽駅本屋プラットフォーム一般公開	北海道旅客鉄道株式会社	13
小樽市	国指定重要文化財旧手宮鉄道施設機関車庫保存工事一般公開	小樽市教育委員会	38
大空町	道指定文化財一般公開	大空町教育委員会	40
安平町	町指定文化財安平町鉄道資料館「D51屋外展示会」	安平町追分SL保存協力会	50

### 【講演会・講座】

市町村名	公開・活用事業名	主催者	参加者数
札幌市	時計台創建130年セミナー「開拓使木造建築の源流と魅力」	札幌市	118
札幌市	講演「北方世界の古代文化」	北海道開拓記念館	143
札幌市	講演「1960年代の北海道考古学」	北海道考古学会	40
札幌市	平成20年度アイヌ民俗文化財専門職員等研修会	北海道教育委員会	37
江別市	講演「栽培植物からみた沖縄と北海道」	道立埋蔵文化財センター	44
函館市	講演「アットウシの歴史を追う」	北海道アイヌ民族文化研究センター・市立函館博物館	80
函館市	講演「山田秀三文庫渡島・檜山地方に関する地名調査資料」		55
函館市	講演「渡島・檜山地方のアイヌ民族資料について」		92
帯広市	講座「アイヌ語で自然かんさつ教室」	帯広百年記念館	7
伊達市	「オコンンベの会」新・縄文ロビー講座2008	オコンンベの会	40
伊達市	講演「北海道・北東北縄文遺跡群の世界的価値」	(財)北海道生涯学習協会	60
平取町	二風谷アイヌ文化博物館講座	町立二風谷アイヌ文化博物館	41

### 【イベント・体験講座等】

市町村名	公開・活用事業名	主催者	参加者数
札幌市	体験講座「勾玉をつくる」	北海道開拓記念館	36
札幌市	芝居「漁場の一年」	財団法人開拓の村	660
恵庭市	体験学習会 石器づくり・勾玉づくり	恵庭市郷土資料館	14

函館市	体験学習「縄文の食材さがし」	NPO函館市埋蔵文化財事業団	4
今金町	今金図書まつり「食育のつどい」映写会	今金町教育委員会	30
妹背牛町	芸能発表会（無形民俗文化財披露）	妹背牛町獅子舞保存会	170
秩父別町	秩父別町文化祭「筑紫神楽獅子舞」	秩父別町教育委員会	200
深川市	ふるさと学習	深川市教育委員会	8
愛別町	愛別町文化祭 芸能発表会	愛別町教育委員会	500
小平町	重要文化財旧花田家番屋火災防御訓練公開事業	小平町教育委員会	15
網走市	すばらしき口琴の世界～演奏体験とコンサート～	道立北方民族博物館	102
網走市	監獄食体験	博物館網走監獄	12,000
北見市	擦文文化復元住居の修復体験	北見市教育委員会	47
上湧別町	「1日屯田兵」宿泊体験	上湧別町教育委員会	20
大空町	町のお宝、石碑・古木見学ツアー	大空町教育委員会	12
大空町	小学生見学会（遺跡、石器等）	大空町教育委員会	47
滝上町	「開拓遺跡碑めぐり」	滝上町教育委員会	69
伊達市	タヌキの皮なめし体験	伊達市噴火湾文化研究所	9
登別市	登別縄文どきどきまつり	登別市教育委員会	70
白老町	本物の鎧具足着用体験	仙台藩白老元陣屋資料館	17
洞爺湖町	史跡めぐりウォークラリー	洞爺湖町教育委員会	35
厚真町	厚真町文化祭「昔の農家の道具体験」	厚真町教育委員会	138
平取町	文化的景観現地説明会	平取町教育委員会	21
様似町	様似山道歩こう会(史跡見学)	様似町教育委員会	24

・平成20年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkan.htm>

### (8)平成20年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員34名を委嘱して計画的に巡視を行い、合わせて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	埋蔵文化財 包蔵地	合計
パトロール対象件数	51	49	2	47	11,728	
パトロール実施件数	27	54	1	43	304	429

### (9) 平成20年度史跡名勝天然記念物の現状変更等の許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官・北海道教育委員会・市町教育委員会の許可が必要となります。

#### 国指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	30	4	40	74
北海道教育委員会	10	0	10	20
市町教育委員会	8	0	8	16

#### 道指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	0	13	13

### (10) 平成20年度銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類は、公安委員会の許可証又は都道府県教育委員会の登録証がなければ所持できないため、銃砲刀剣類の登録などを行いました。

登録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
97	44	490	66	19	716

- ・ 銃砲刀剣類登録審査会のお知らせ→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/toukensinnsakai.htm>

## 2 埋蔵文化財

### (1)市町村別埋蔵文化財包蔵地一覽

石	札幌市	527	後	倶知安町	21	上	名寄市	150	宗	利尻富士町	20	日	様似町	28		
	江別市	142		共和町	30		富良野市	140		谷	(宗谷計)		349	えりも町	67	
	千歳市	281		岩内町	13		鷹栖町	28		網	網走市		166	高	(日高計)	602
	恵庭市	125		泊村	33		東神楽町	24			北見市		448	十	帯広市	59
	北広島市	59		神恵内村	10		当麻町	18			紋別市		66		音更町	101
	石狩市	221		積丹町	17		比布町	22			大空町		63		士幌町	39
	当別町	18		古平町	11		愛別町	23			美幌町		120		上士幌町	74
	新篠津村	2		仁木町	24		上川町	23			津別町		54		鹿追町	44
	(石狩計)	1,375		余市町	63		東川町	22			斜里町		362		新得町	29
渡	函館市	318	志	赤井川村	66	美瑛町	43	清里町	34		清水町	34				
	松前町	118		(後志計)	802	上富良野町	37	小清水町	42		芽室町	61				
	福島町	33		岩見沢市	54	中富良野町	35	訓子府町	263	中札内村	5					
	知内町	32		夕張市	16	南富良野町	25	置戸町	104	更別村	13					
	木古内町	47		美瑛市	6	占冠村	11	佐呂間町	38	大樹町	32					
	北斗市	104		芦別市	93	和寒町	36	遠軽町	215	広尾町	21					
	七飯町	72		赤平市	13	剣淵町	30	上湧別町	27	幕別町	132					
	鹿部町	6		三笠市	12	下川町	69	湧別町	27	池田町	58					
	森町	50		滝川市	10	美深町	42	滝上町	15	豊頃町	52					
	八雲町	99		砂川市	19	音威子府村	10	興部町	38	本別町	93					
	長万部町	48		歌志内市	0	中川町	10	西興部村	14	足寄町	114					
	(渡島計)	927		深川市	75	(上川計)	1,058	雄武町	48	陸別町	55					
	島	江差町		64	空	南幌町	0	留萌市	28	走	(網走計)	2,144	浦幌町	58		
上ノ国町		85	奈井江町	22		増毛町	16	室蘭市	35		(十勝計)	1,074				
厚沢部町		54	上砂川町	0		小平町	19	苫小牧市	243		釧路市	135				
乙部町		111	由仁町	37		苫前町	15	登別市	29		釧路町	76				
せたな町		70	長沼町	56		羽幌町	32	伊達市	88		厚岸町	90				
奥尻町		32	栗山町	37		初山別村	7	豊浦町	20		浜中町	121				
今金町		59	月形町	8		遠別町	5	洞爺湖町	12		標茶町	207				
(檜山計)		475	浦臼町	48		天塩町	43	壮瞥町	1		弟子屈町	49				
後	小樽市	102	知	新十津川町	15	幌延町	18	振	白老町	44	路	鶴居村	73			
	島牧村	24		妹背牛町	4	(留萌計)	183		安平町	65		白糠町	30			
	寿都町	43		秩父別町	8	稚内市	139		厚真町	113		(釧路計)	781			
	黒松内町	51		雨竜町	5	猿払村	18		むかわ町	95		根室市	303			
	蘭越町	48		北竜町	10	浜頓別町	19		(胆振計)	745		別海町	85			
	二セコ町	194		沼田町	6	中頓別町	8		日高町	128		中標津町	66			
	真狩村	20		幌加内町	8	枝幸町	70		平取町	125		標津町	185			
	留寿都村	7		(空知計)	562	豊富町	14		新冠町	43		羅臼町	75			
	喜茂別町	13		旭川市	214	礼文町	50		新ひだか町	153		(根室計)	714			
	京極町	12		士別市	46	利尻町	11		浦河町	58		計	11,791			

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」へ

→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm>

**(2)平成 20 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧**

	件数	面積
埋蔵文化財保護のための事前協議	841	
平成 20 年度北海道実施の所在調査	99	10,755.211ha
平成 20 年度北海道実施の試掘調査	73	145.789ha

**(3)平成 20 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧**

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
石狩	0	—	1	0.676ha
渡島	4	38.915ha	13	8.967ha
桧山	0	—	1	4.500ha
後志	5	446.687ha	2	1.728ha
空知	7	1,062.390ha	4	16.600ha
上川	5	152.029ha	2	3.480ha
留萌	7	762.434ha	8	18.112ha

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
宗谷	2	43.673ha	3	7.476ha
網走	17	2,627.435ha	12	28.594ha
胆振	16	303.862ha	7	5.511ha
日高	0	—	2	4.045ha
十勝	27	4,706.495ha	14	38.400ha
釧路	2	382.000ha	1	0.950ha
根室	7	229.291ha	3	6.750ha

・平成 20 年度の所在・試掘調査→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/surveytestpit.htm>

**(4)平成 20 年度管内別発掘調査一覧**

管内	件数	調査面積
石狩	22	72,111 m <sup>2</sup>
渡島	16	44,824 m <sup>2</sup>
桧山	2	2,042 m <sup>2</sup>
後志	1	1,776 m <sup>2</sup>
空知	0	—
上川	2	1,000 m <sup>2</sup>
留萌	0	—

管内	件数	調査面積
宗谷	0	—
網走	21	13,213 m <sup>2</sup>
胆振	10	9,112 m <sup>2</sup>
日高	2	1,631 m <sup>2</sup>
十勝	3	1,196 m <sup>2</sup>
釧路	5	3,897 m <sup>2</sup>
根室	8	2,546 m <sup>2</sup>
合計	92	153,384 m <sup>2</sup>

・平成 20 年度の発掘調査の概要は

→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shichousonhakkutugaiyouH20.htm>

**(5)平成 20 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数**

条項	内訳 (指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	10	94	66	0	161
法第 94 条	0	45	82	35	1	154

**(6)平成 20 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等**

条項	内訳 (指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	0	0
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

**(7)平成 20 年度出土文化財認定件数と出土遺物量**

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道	80	2	82	3,426 箱
政令市・中核市	4	19	23	780 箱

**(8)平成 20 年度出土文化財譲与件数**

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	19	89	3,976 箱

※箱は 60 cm×40 cm×15 cm に換算したものです。

### 3 その他

#### (1)北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画 平成20年3月）

基本目標5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向11 文化・芸術活動の推進

#### 項目36 文化財の保存・活用

##### ● 現状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、これまでも道民の共有財産として保存・活用を図ってきましたが、時代の推移により保存や伝承が困難となっているものもあるため、次の世代に確実に守り伝えていくことが課題となっています。また、本道初の国宝の誕生や縄文遺跡群など【世界遺産】の世界遺産登録への気運の盛り上がりなどにより、文化財に対する関心が一層高まる中で、本道の特性を生かした文化財の保存・活用や文化財を活用した魅力ある地域づくりが求められています。

##### ● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、アイヌ民俗文化財の保存・伝承の取組を重点的に推進します【世界遺産】。また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に努めます。

##### ● 施策の対応方向

###### ■ 文化財の調査・保存・活用の推進

有形・無形の文化財、史跡・名勝、天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。

###### ■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進

アイヌの人たちが北国の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かな知恵や経験は貴重な財産と言えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組みるとともに、保存・伝承活動を推進します。また、引き続き、学校においてアイヌの人たちの歴史・文化等についての理解を深める教育活動の充実に取り組みます。

###### ■ 世界遺産登録に向けた取組の推進

国指定史跡の縄文遺跡群や大規模野穴住居跡群を人類共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産への登録に向けた取組を推進します。

###### ■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信

貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、子どもや地域の人々が文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。

##### ● 主な事業の概要（H20～24）

事業の概要	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化財の調査・保存・活用の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の指定や登録等を推進するとともに、文化財パトロールの実施等により、指定文化財等の現状を把握し、必要に応じて保存整備を行います。</li> <li>埋蔵文化財包蔵地の的確な把握とその周知に努めます。</li> </ul> </li> </ul>	道 市町村 民間
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ民俗文化財調査事業やアイヌ民俗文化財保存・伝承事業を実施するとともに、「アイヌ民族文化祭」やアイヌ語指導者養成講座等の開催を支援します。</li> <li>アイヌ民俗文化財等の指定を推進します。</li> </ul> </li> </ul>	道 市町村 民間
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界遺産登録に向けた取組の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>縄文遺跡群や大規模野穴住居跡群を資産候補として、北東北3県（青森県、岩手県、秋田県）及び道内関係市町村等と連携を図り、世界遺産暫定一覧表への登録をめざすとともに、普及・啓発事業や周知活動に取り組みます。</li> </ul> </li> </ul>	道・県 市町村 民間
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信           <ul style="list-style-type: none"> <li>「文化財保護強国月間」を指定して文化財に親しむ機会を提供するとともに、web版「北海道文化財年報」や指定文化財情報等のデータベース化を図り、文化財に関する総合的な情報の発信に取り組みます。</li> </ul> </li> </ul>	道 市町村 民間

##### ● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H18 295件	H24 320件
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H18 1,262人	H24 1,500人

## (2)平成 20 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

- ・ 申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課文化財保護グループ

直通電話 (011)204-5749 FAX (011)232-1076

平成 20 年度は次のとおり開催しました。

開催年月日	時 間	場 所	審議内容
平成 20 年 5 月 23 日(金)	13 : 30 ～14 : 15	道庁別館西棟 5 階 9 号会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道指定無形文化財「松前神楽」の保持者の認定解除及び指定解除について</li> <li>・ 「松前神楽」の道指定無形民俗文化財指定についての答申</li> </ul>
平成 20 年 7 月 4 日(金)	13 : 30 ～15 : 10	道庁別館 9 階 共用会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長、副会長及び部会構成、部会長、副部会長の選出</li> <li>・ 審議会議事要旨の公表について</li> <li>・ 「松前神楽」無形民俗文化財の指定について</li> <li>・ その他意見交換等</li> </ul>
平成 21 年 2 月 25 日(水)	13 : 30 ～16 : 00	道庁別館 8 階 1 号会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化財指定・登録の状況</li> <li>・ 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」等の世界遺産登録推進について</li> <li>・ 「アイヌ古式舞踊」のユネスコの無形文化遺産代表一覧表記載について</li> <li>・ 「北海道文化財保護強調月間」の取組について</li> <li>・ 「文化財まる知ナビ」等の情報発信事業について</li> <li>・ 第 50 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会について</li> <li>・ 未指定文化財の道指定の推進について</li> </ul>

### (3)北海道文化財保護審議委員一覧(平成21年3月31日現在)

(任期:平成20年7月1日~平成22年6月30日)

氏名	所属等
沖野 慎二	北海道東海大学准教授
小栗 祐美	北海道教育大学教授(函館校)
片倉 晴雄	北海道大学大学院教授
角 幸博	北海道大学大学院教授
菊池 俊彦	北海道大学名誉教授
齋藤 傑	三浦綾子記念文学館副館長
佐藤 一夫	特定非営利活動法人函館市埋蔵文化財事業団理事長
進藤貴美子	北海道教育大学教授(釧路校)
高橋 英樹	北海道大学総合博物館教授
常田 益代	北海道大学留学生センター教授
富澤多美男	北海道森林管理局企画調整部長
早矢仕有子	札幌大学准教授
本田 優子	札幌大学教授
松本 政美	北海道開発局開発監理部長
箕浦名知男	北海道大学総合博物館研究員

・北海道文化財保護審議会について→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/hogoshingikai.htm>

### (4)平成20年度銃砲刀剣類登録審査会

平成20年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり4回開催しました。

審査年月日	時間	場所
平成20年6月2日(月)	10:30~15:00	道庁別館7階会議室(札幌市中央区北3条西7丁目)
平成20年8月29日(金)	10:30~15:00	北海道上川合同庁舎302号会議室(旭川市永山6条19丁目)
平成20年11月28日(金)	10:30~15:00	道庁別館8階1号会議室(札幌市中央区北3条西7丁目)
平成20年2月26日(木)	10:30~15:00	北海道渡島合同庁舎西棟402号会議室(函館市美原4丁目)

### (5)北海道銃砲刀剣類登録審査委員(平成21年3月31日現在)

(任期:平成20年5月19日~平成22年3月31日)

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
廣田 淳一	札幌(6月)、函館
田中 益穂	旭川、札幌(11月)
渡邊 徹	札幌(6月)、函館
野波 明利	旭川、札幌(11月)
石井 利明	札幌(6月)、札幌(11月)

## (6)北海道立埋蔵文化財センター

### ①入館者

平成20年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	904	1403	1150	1126	1267	768	1267	653	488	488	450	549	10,513

### ②資料等の閲覧・貸出等件数

平成20年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	1	2	10	6	7	3	10	3	7	7	7	68

### ③事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成19年度発掘調査報告会	平成20年4月12日	60人
	秋季講演会	平成20年10月18日	44人
	冬季講演会	平成21年2月21日	56人
考古学教室	ガラス玉づくり 入門編	平成20年6月21日	15人
	ガラス玉づくり 応用編	平成20年6月28日	15人
	縄文ネックレスづくり	平成20年9月6日	20人
	石器づくり	平成20年11月19日	15人
	考古学入門講座	平成20年12月13日	42人
	拓本講座	平成21年3月14日	28人
	夏休み親子考古学教室1(第1回)	平成20年7月26日	22人
	夏休み親子考古学教室2(第2回)	平成20年8月2日	17人
	冬休み親子考古学教室1(第1回)	平成21年1月10日	27人
	冬休み親子考古学教室2(第2回)	平成21年1月17日	12人
体験ひろば	写生会	平成20年7月19日～8月24日	42人
	冬休み縄文生活体験ひろば	平成21年1月6～18日	45人
	冬休み親子写真撮影会	平成21年1月6～18日	
研修会	平成20年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成21年2月13日	36人

### ④平成20年度テーマ展日程

	展示名	展示期間
1	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成19年度発掘調査成果展	平成20年3月29日～6月8日
2	わかる考古学3—続・縄文生活体験ひろば一展	平成20年7月19日～8月24日
3	交流の考古学4—植物利用からみた沖縄と北海道一展	平成20年9月29日～11月18日
4	わかる考古学5—植物利用からみた大陸と北海道一展	平成21年1月24日～3月1日
5	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成20年度発掘調査成果展	平成21年3月27日～6月7日

## ⑤平成 20 年度考古学教室出前講座一覧

事業分

市町村	実施場所	実施日	参加人数
比布町	比布町福祉会館	平成 20 年 7 月 12 日	37 名
夕張市	夕張市立緑陽中学校	平成 20 年 8 月 3 日	19 名
本別町	本別町中央公民館	平成 20 年 8 月 9 日	34 名
京極町	京極町生涯学習センター湧学館	平成 20 年 8 月 23 日	23 名
鶴居村	鶴居村ふるさと情報館みなくる	平成 20 年 9 月 13 日	36 名
大樹町	大樹町生涯学習センター	平成 20 年 9 月 20 日	30 名
津別町	津別町中央公民館	平成 20 年 12 月 6 日	12 名

## (7)文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (随時更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。  <b>URL :</b> <a href="http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm">http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm</a>
指定文化財をみることのできる主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。  <b>URL :</b> <a href="http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19museum-guide.htm">http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19museum-guide.htm</a>
平成 20 年度北海道文化財情報	平成 20 年 4 月 25 日	平成 20 年度中の指定文化財の公開情報、市町村指定文化財の紹介など、文化財に関する情報を公開しました。  <b>URL :</b> <a href="http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/20bunkazaijoho.htm">http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/20bunkazaijoho.htm</a>
平成 19 年度北海道文化財年報	平成 20 年 7 月 24 日	平成 19 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。  <b>URL :</b> <a href="http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19bunkazai-nenpo.htm">http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19bunkazai-nenpo.htm</a>
平成 20 年度文化財保護強調月間	平成 20 年 7 月 29 日	北海道文化財強調月間 (10 月 8 日～11 月 7 日) 期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、高校写真部の生徒が撮影した文化財写真集を掲載しました。

	URL : <a href="http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkan.htm">http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkan.htm</a>	
市町村における発掘調査の概要(平成20年度版)	平成20年 3月?日	平成20年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
	URL : <a href="http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shichousonhakkutugaiyouH20.htm">http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shichousonhakkutugaiyouH20.htm</a>	

#### (8)文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	<a href="http://www.bunka.go.jp/">http://www.bunka.go.jp/</a>
2	北海道環境生活部道民活動文化振興課	<a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/sbs/">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/sbs/</a>
3	財団法人北海道埋蔵文化財センター	<a href="http://www.domaibun.or.jp/">http://www.domaibun.or.jp/</a>
4	北海道文化財保護協会	<a href="http://www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/">http://www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/</a>